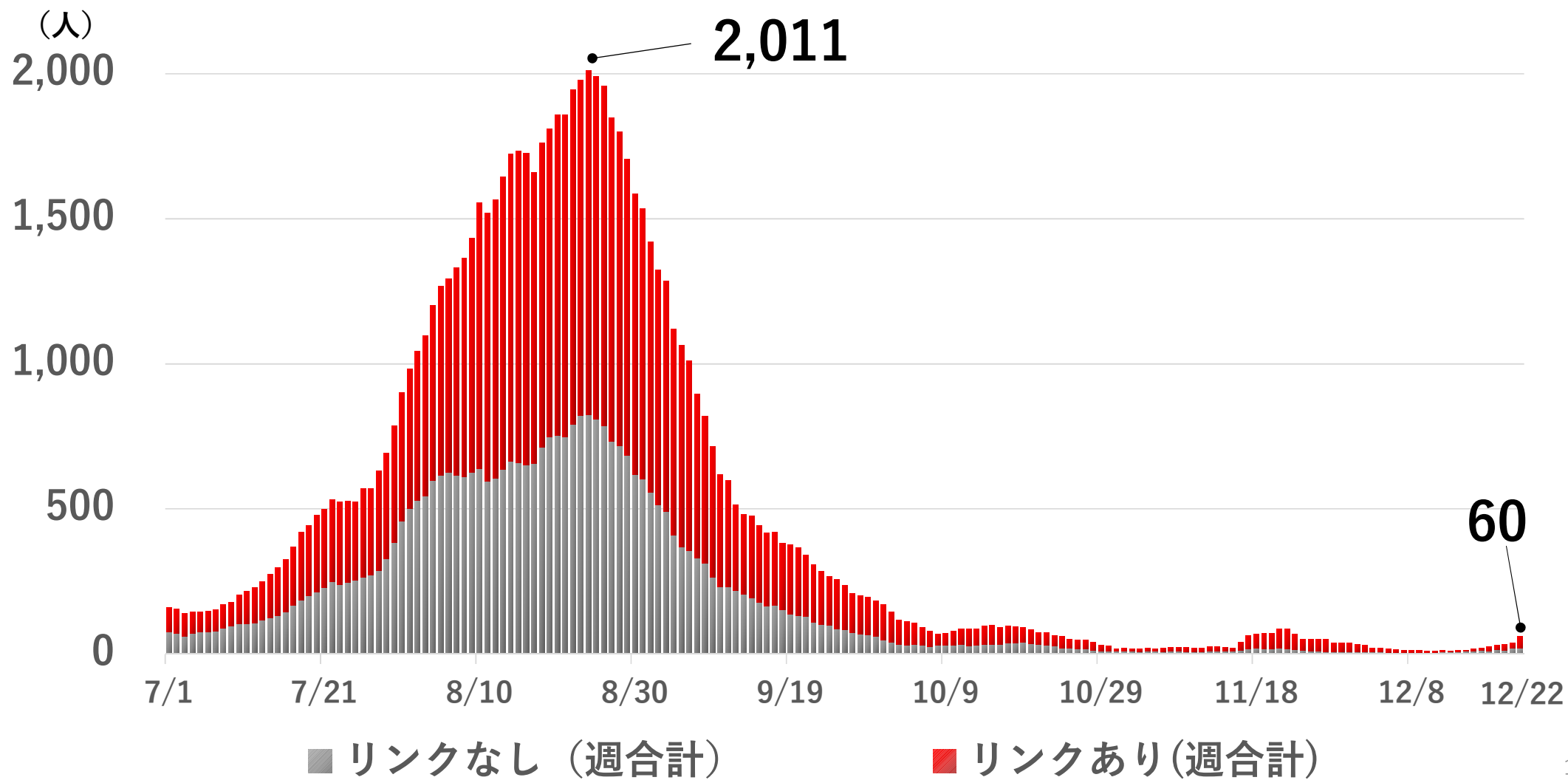


札幌市感染症対策本部会議

札幌市の感染状況について

令和3年12月23日
札幌市保健所

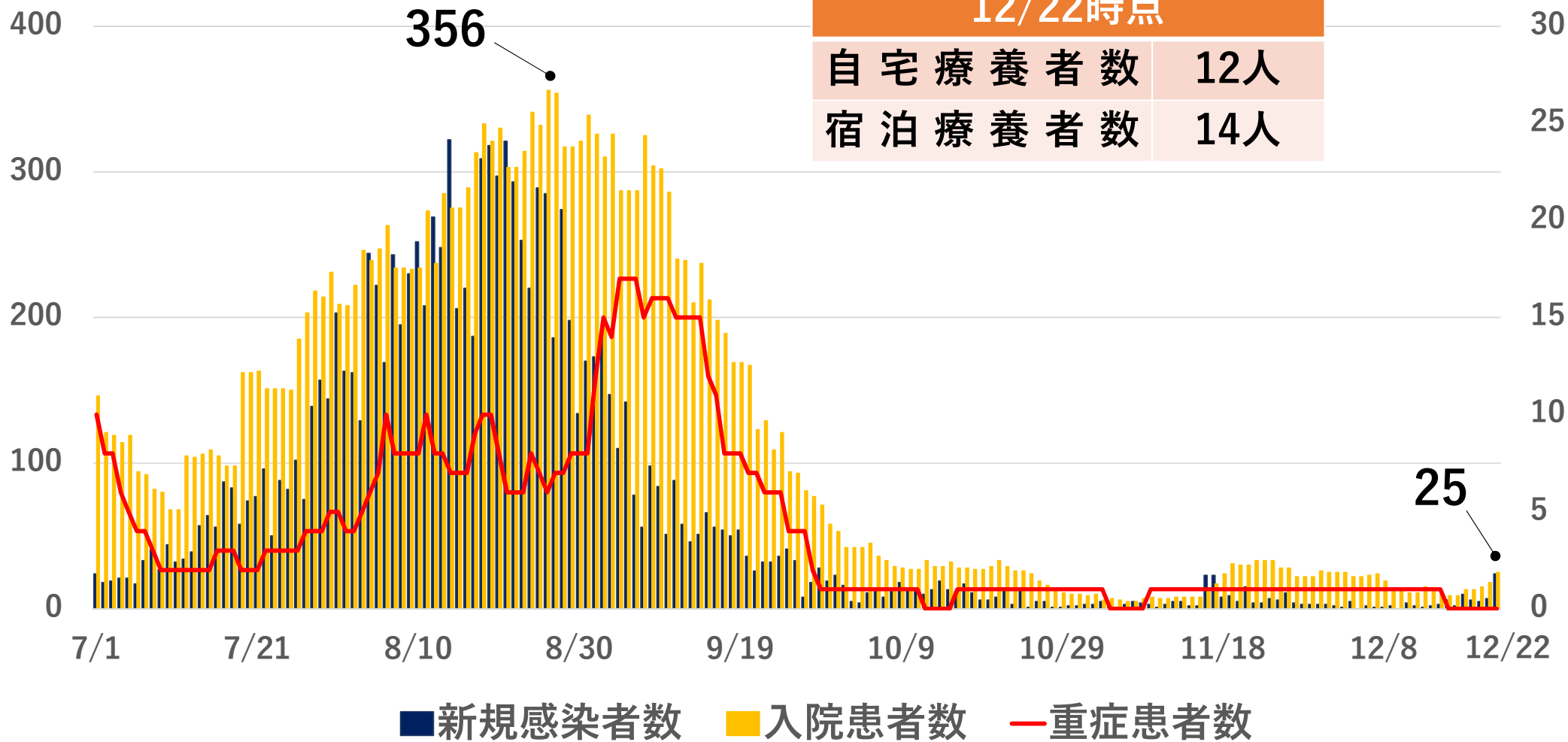
市内新規感染者数の推移



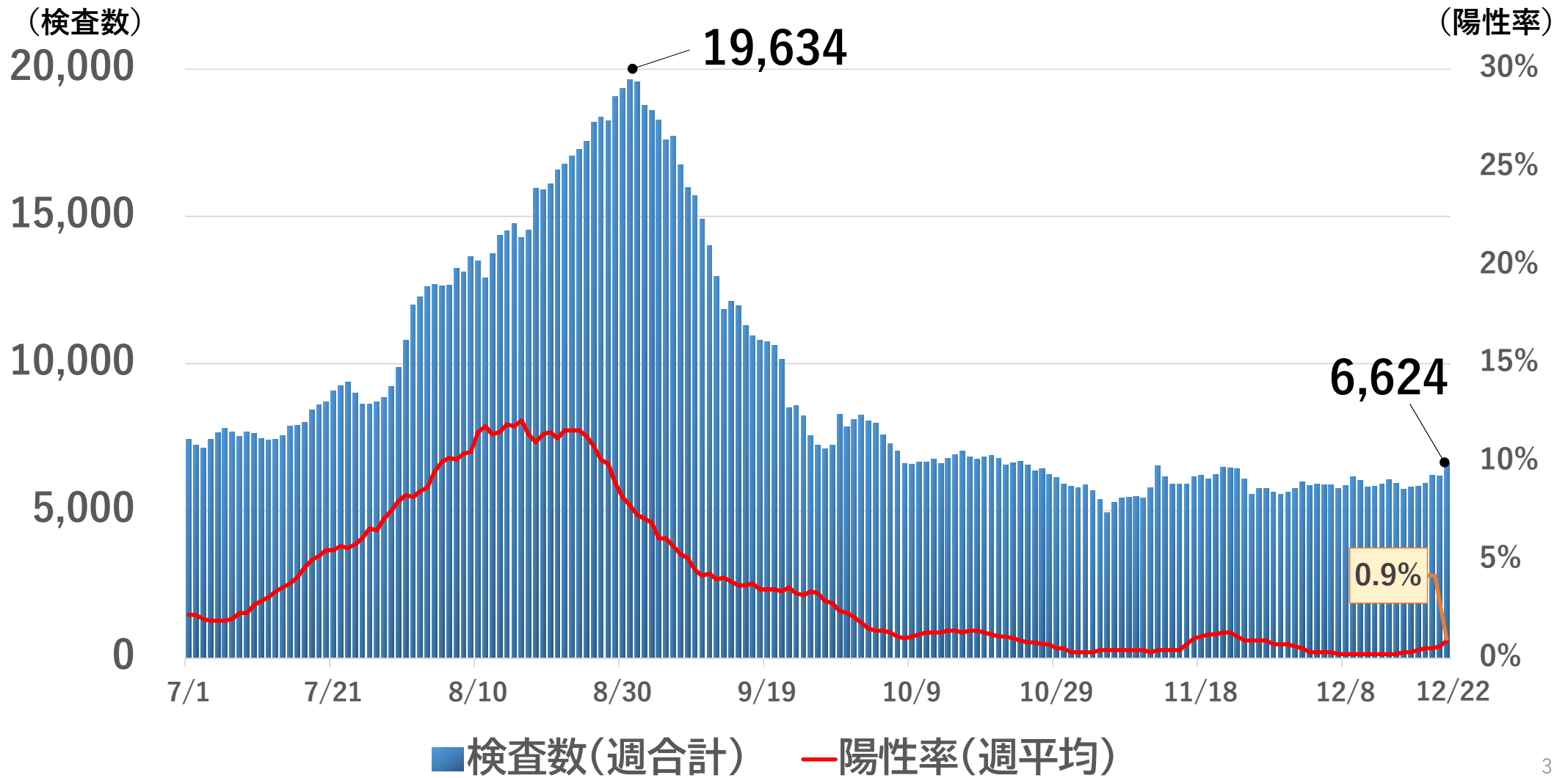
札幌市民の感染者数・入院患者数・重症患者数の推移

(新規感染者・入院患者数)

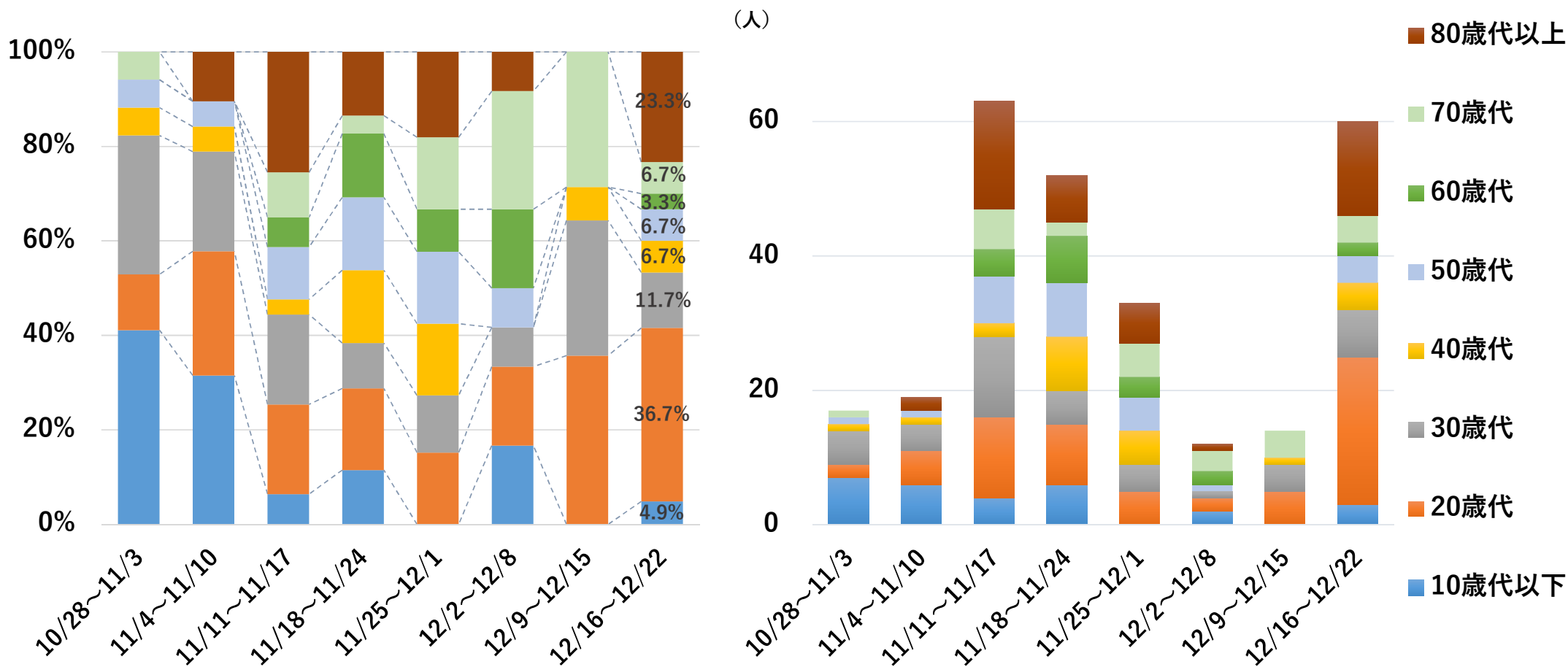
(重症患者数)



市内検査数と陽性率の推移

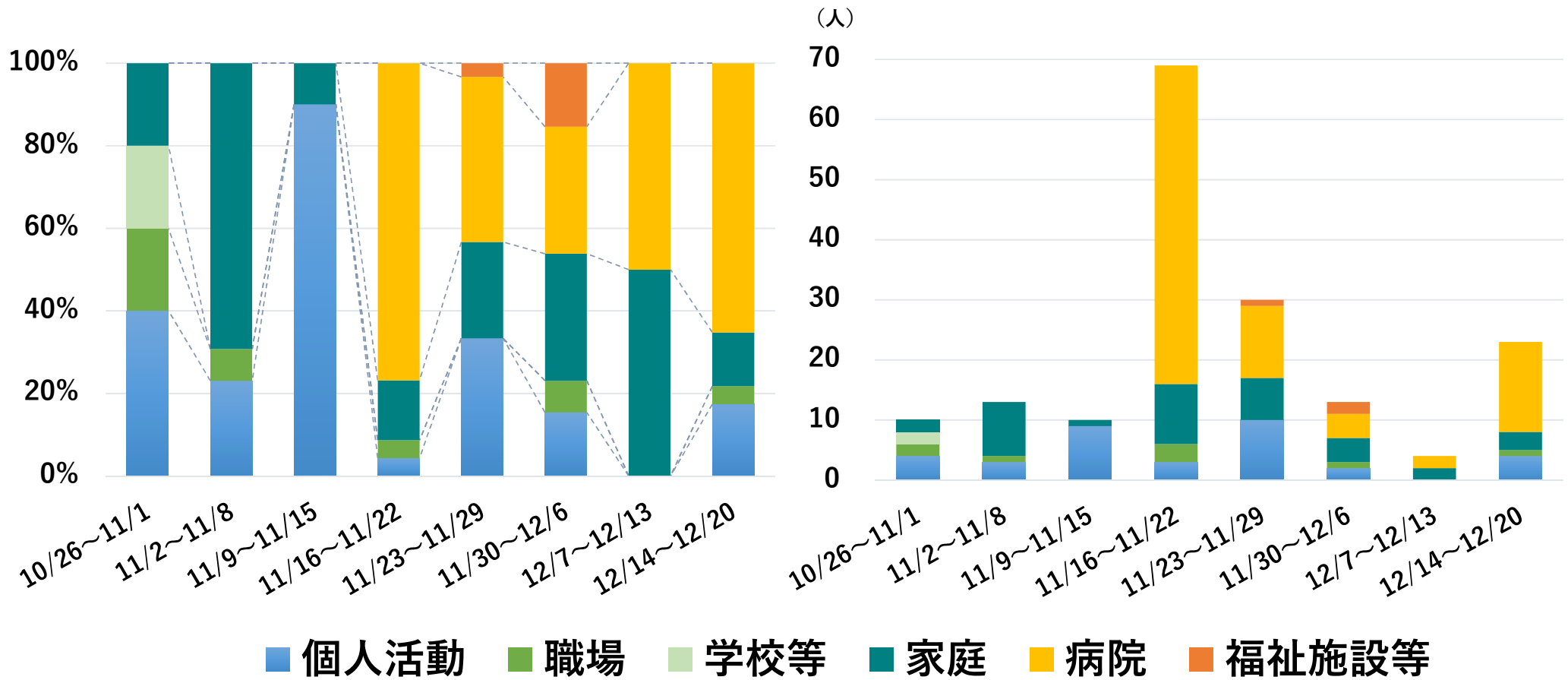


市内年齢別感染者数の割合



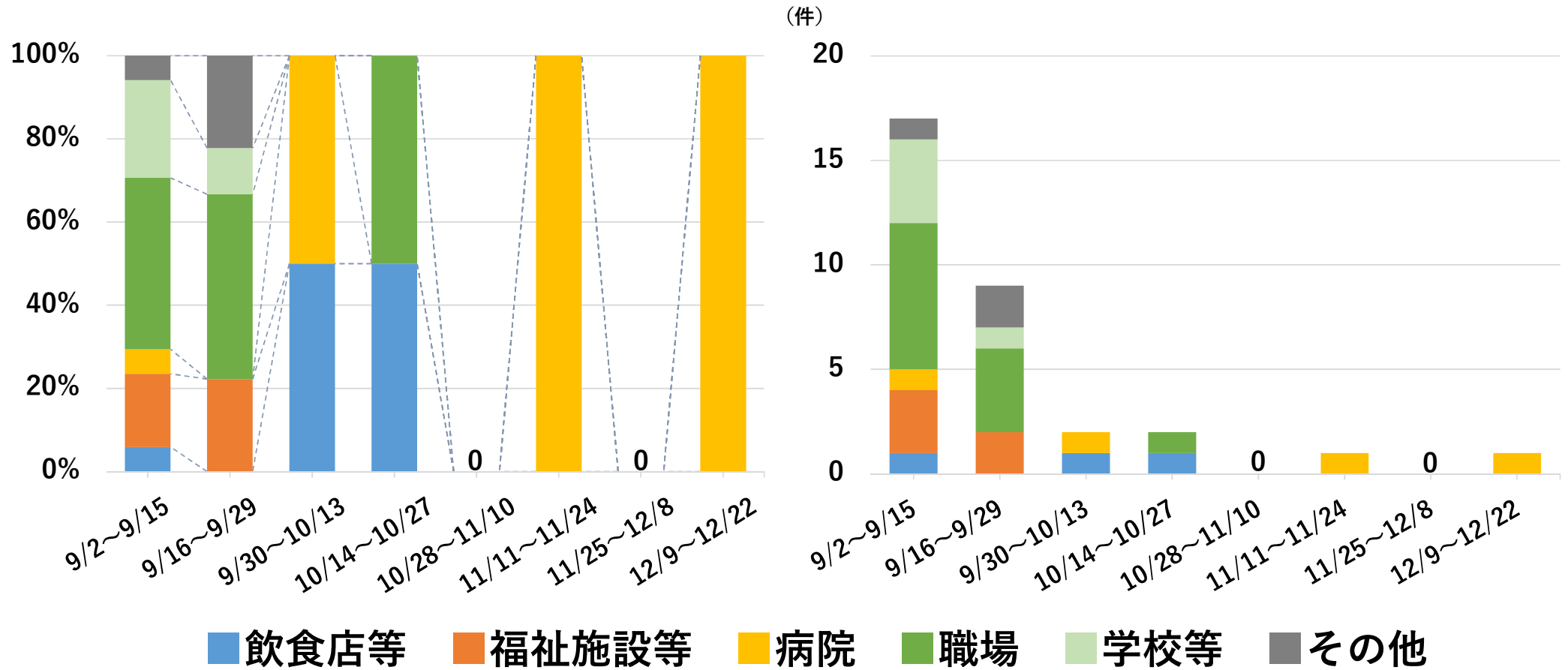
➤ 80歳代以上の割合・件数が増加
 ➤ 20歳代の件数が増加

市内新規感染者（リンクあり）の感染経路



➤ 医療機関や個人活動を感染経路とする割合・件数に増加がみられる

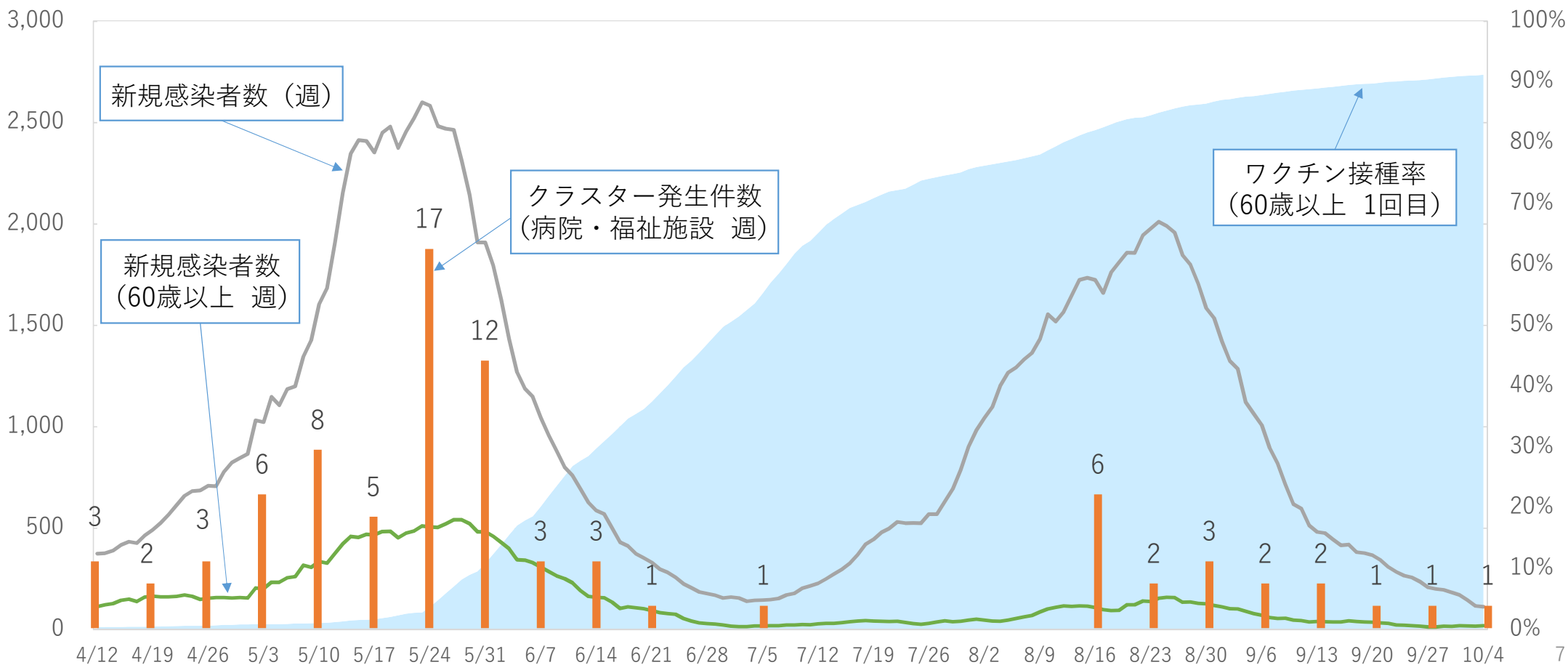
市内集団感染事例



➤ 10月以降、発生件数は低い水準で推移

ワクチン接種率と新規感染者数/クラスター発生件数の推移

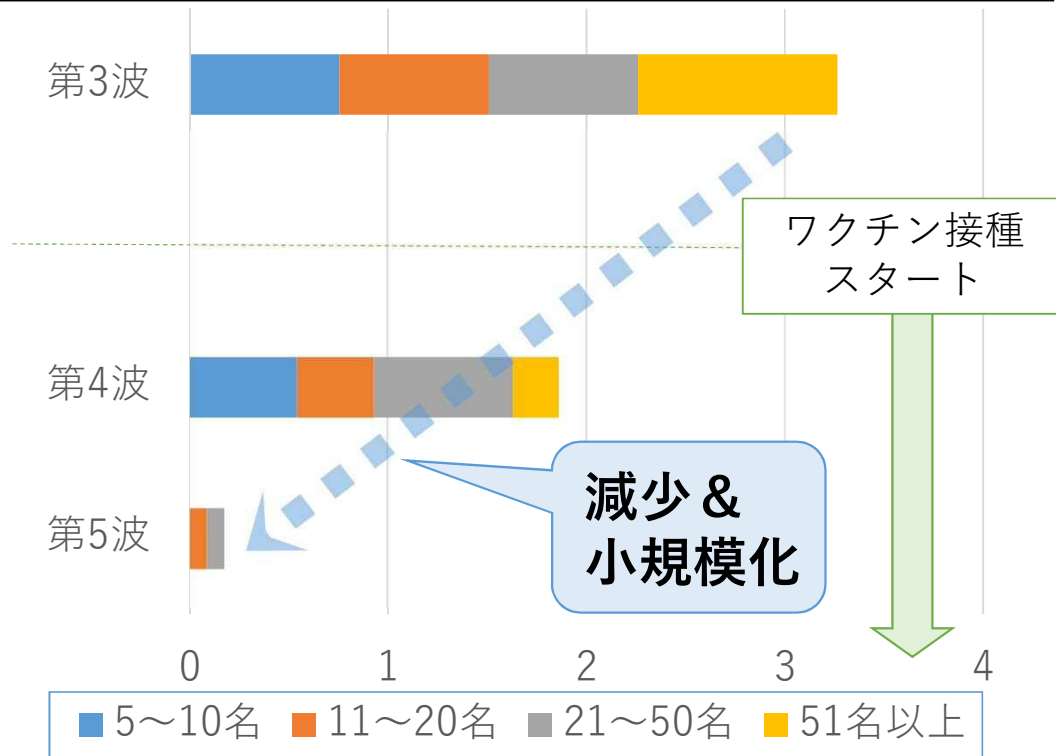
- ワクチンが普及した第5波では60歳以上の新規感染者数が、第4波の約3分の1に減少
- 同様に、病院・福祉施設でのクラスター発生件数も大幅に減少



医療機関におけるクラスターの傾向分析

- ワクチン接種の進展に伴い、医療機関でのクラスター発生件数が大幅に低下したほか、クラスター規模も小規模化
- また直近では、収束までの期間、陽性者数、死亡者数の減少など質的な変化

○陽性者1,000人あたりの医療機関クラスター発生件数



○クラスターの質的な変化

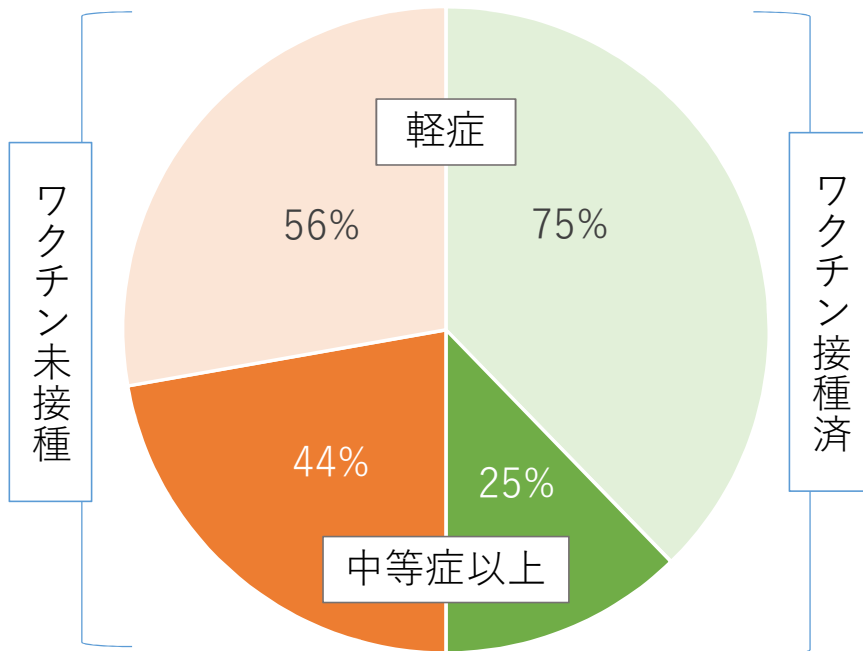
	収束までの期間 (平均)	陽性者数 (平均)	死亡者数 (平均)
従前のクラスター事例	約50日	76.1人	13.1人
約3~9割減			
直近のクラスター事例 (2件)	約38日	53.0人	0.5人

※ある程度大規模なクラスター（約30人以上）での比較

直近のクラスター事例（医療機関 2件）の分析

- 直近 2 件の医療機関クラスターで陽性となった入院患者（高齢者中心）の分析
- 経時的に重症化予防効果が低下する高齢者でも、ワクチン接種者の重症化割合は低い
- 中和抗体療法の実施状況も含めると、重症化割合にはさらに開きが見られる
- ワクチン接種、3回目追加接種を進めることが身を守ることに

○ワクチン接種状況別 重症度



○ワクチン接種・中和抗体療法状況別 中等症以上割合

属性	中等症以上割合
ワクチン <u>接種済</u> ・中和抗体療法 <u>実施</u>	<u>19.2%</u>
ワクチン <u>接種済</u> ・中和抗体療法 <u>未実施</u>	29.6%
ワクチン <u>未接種</u> ・中和抗体療法 <u>実施</u>	41.7%
ワクチン <u>未接種</u> ・中和抗体療法 <u>未実施</u>	<u>50.0%</u>

感染対策の普及・啓発の取組

- これまで様々なクラスター事例の調査を実施
- 実例から得た知見の蓄積に基づく対策のポイントを、短い動画や分かりやすい資料で解説
- 職場や保育施設など“場所”や“ひと”に着目した対策を市ホームページで公開
(URL:<https://www.city.sapporo.jp/hokenjo/kansentaisakushiryoku202111.html>)
- QRコードも活用し、動画等へのアクセス性を向上

テーマ

【事業者向け】 新型コロナウイルス感染症対策

【保育施設等向け】 「新型コロナウイルス感染対策」 動画

【保育施設等向け】 「こどもが濃厚接触者になったら」 動画

【学生寮・社員寮向け】 入寮者のための新型コロナウイルス感染予防ハンドブック

【入所施設向け】

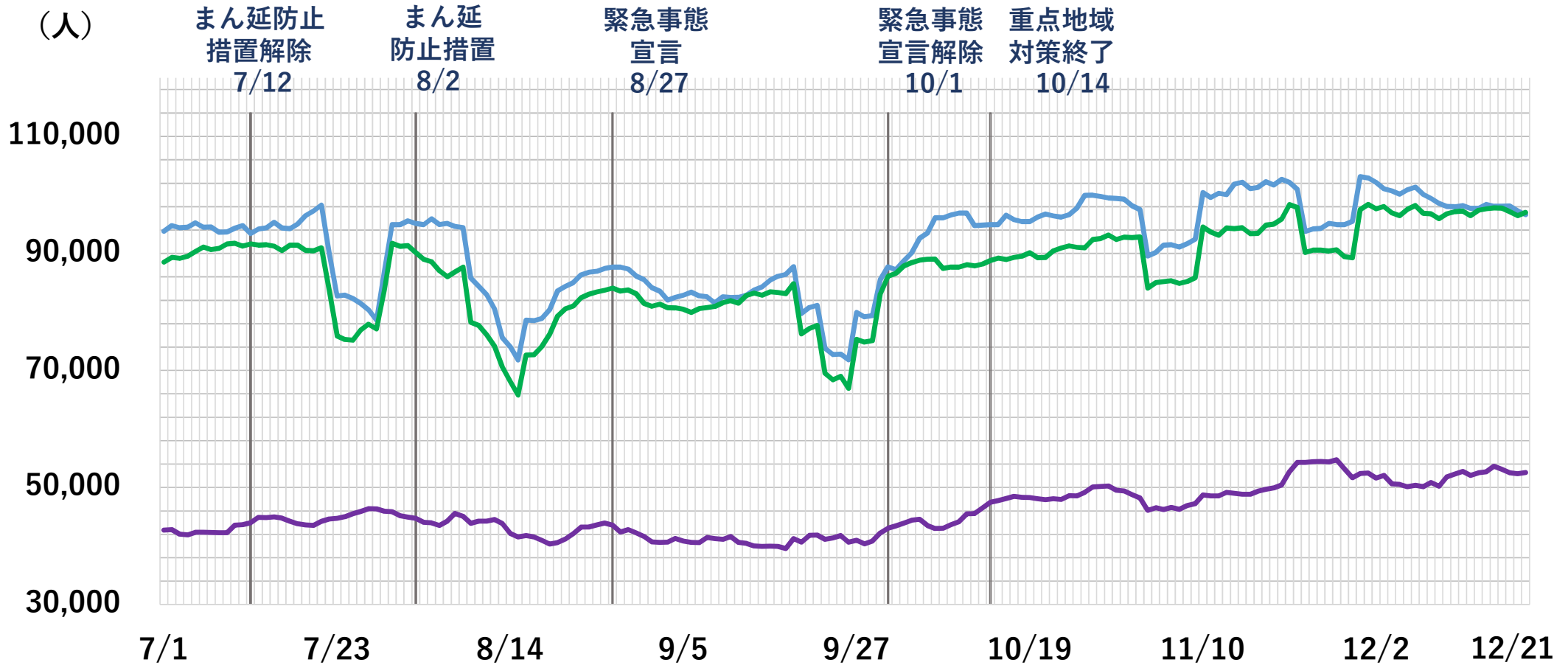
グループホームなどでくらす人のための新型コロナウイルス感染予防ハンドブック

市内中心部の人出（午前9時、7日間平均）

札幌駅

大通駅

すすきの駅



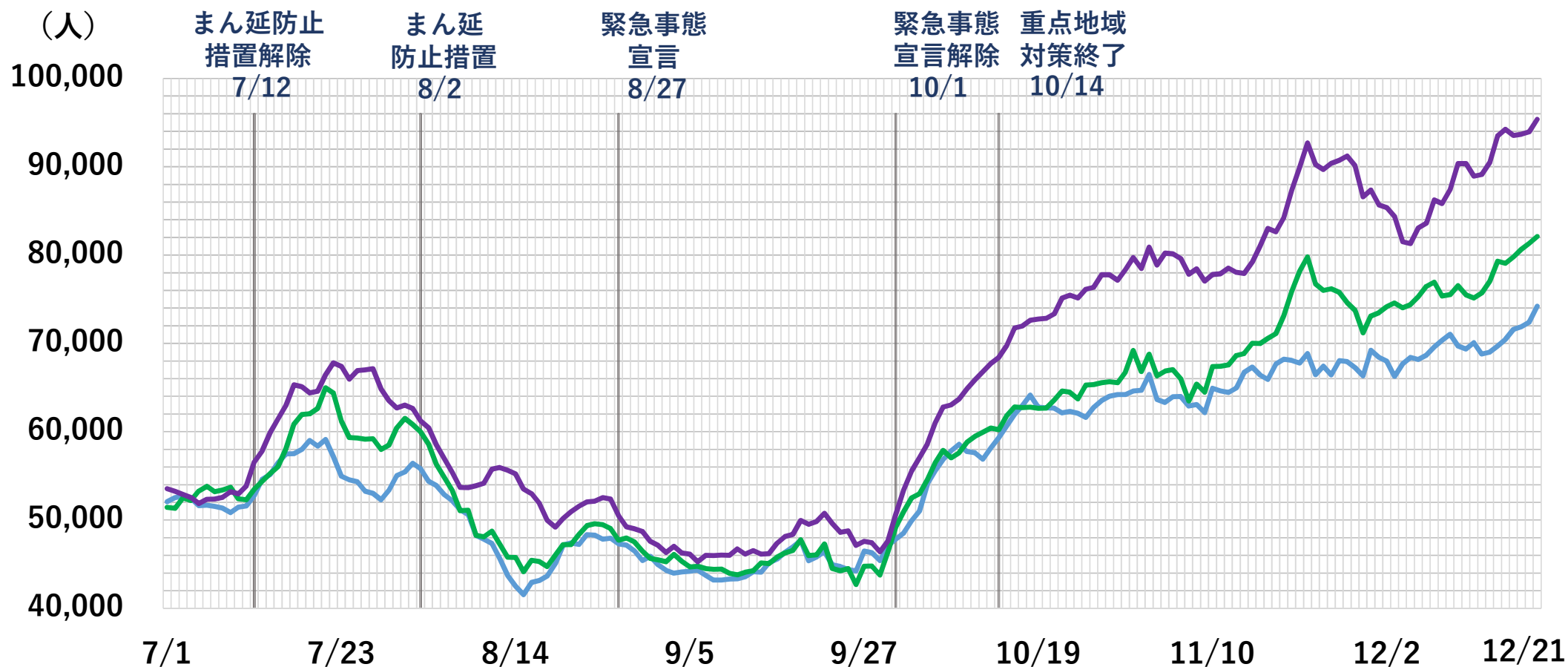
※Agoop社提供データを元に作成

市内中心部の人出（午後8時、7日間平均）

札幌駅

大通駅

すすきの駅



※Agoop社提供データを元に作成

感染拡大防止に向けて

- 年末年始は社会経済活動が活発になり、感染リスクが高まりやすい時期
- ワクチン接種には高い効果があるが、100%というわけではない
- 体調に違和感を感じたら、早めの受診、
早めの受検を

入院受入病床の状況

令和3年12月23日
保健福祉局保健所

- 市内の感染状況は、医療機関でのクラスターの発生等により、一時的に感染者数が増え、市中への広がりには警戒を強めているところ

	9月28日	10月8日	12月9日	12月22日
① 確保病床数	609	489	426	433(+7)
② 実質受入可能病床数	570	482	426	433(+7)
③ 入院患者数(市外患者含む)	80	34	12	25
④ 実質病床使用率(③÷②)	14.0%	7.1%	2.8%	5.8%

10/1からフェーズ3からフェーズ2へ移行

10/18からフェーズ2からフェーズ1へ移行

抗体カクテル療法などの治療実績

令和3年12月23日
保健福祉局保健所

(1) 抗体カクテル療法（ロナプリーブ）の治療実績（12月22日時点）

	12月6日	12月22日
【総計：①+②+③】 37か所の医療機関など	444	460(+16)
① 入院受入医療機関の35病院（37病院中）	362	378(+16)
② 第1入院待機ステーション（9/1～9/16）	68	68
③ 医療機関（クラスター）（11/15～）	14	14

(2) 中和抗体薬（ゼビュディ）の治療実績（12月22日時点）

	12月6日	12月22日
【総計：①+②】 4か所の医療機関	27	28(+1)
① 入院受入医療機関の4病院（37病院のうち16病院登録済み）	3	4(+1)
② 医療機関（クラスター）（11/17～）	24	24

(1) + (2) 抗体カクテル療法などの治療実績（12月22日時点） **合計 488人 (+17)**